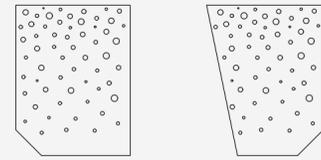


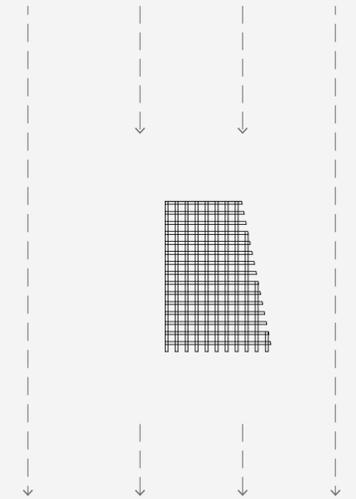
働き方をシェアする集合住宅

近年、様々な働き方が混在する時代になりつつある。今後様々な働き方が集積する場所となる集合住宅はどんな形へと変わっていくのだろうか。

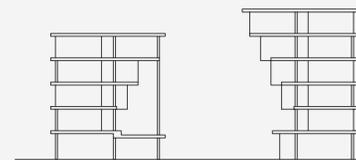
■ 建築構成



穴あきパネルで包み込み、光を和らげる



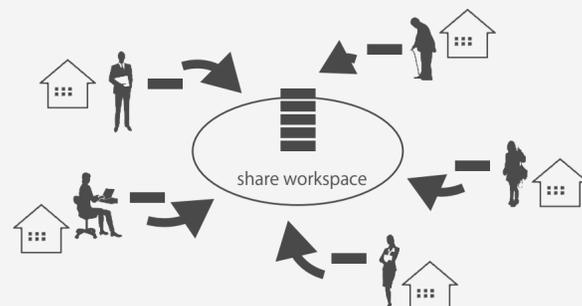
格子で二つの棟を繋ぎ、一体感を与える



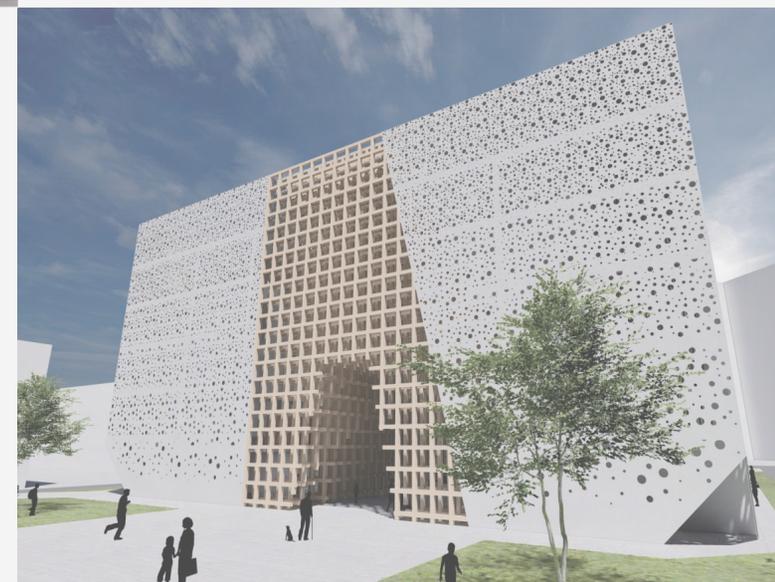
■ 背景

新型コロナウイルスが蔓延したことによって社員それぞれが在宅で働くことを余儀なくされた。この出来事をきっかけに様々な在宅での働き方が注目を浴び、実際に様々な形の在宅勤務が取り組まれてきた。在宅で働くことにメリットを感じる人も多くおり、今後コロナが収まった後もこのような働き方が続いていくと思われる。そのような世の中になった時、従来の集合住宅では適用しきれないと考えられる。そこで、在宅中心の働き方になった時に在宅勤務者だけでなく、その家族もが健康的で充実した生活を過ごせるような集合住宅を提案する。

■ コンセプト



在宅で働くことが中心となると、集合住宅には様々な働き方、価値観、ライフスタイルというものを持った人が集まる。交流により、様々な考え方に触れることは人々に柔軟な発想を与え、仕事の幅を拡げてくれる。このように交流することは在宅で働く人だけでなく、多くの人の生活を豊にしてくれる。そこで、本設計では働き方をシェアすることで人々の交流を促す新しい形の集合住宅を目指す。



■ 計画敷地



0 50 100 200m

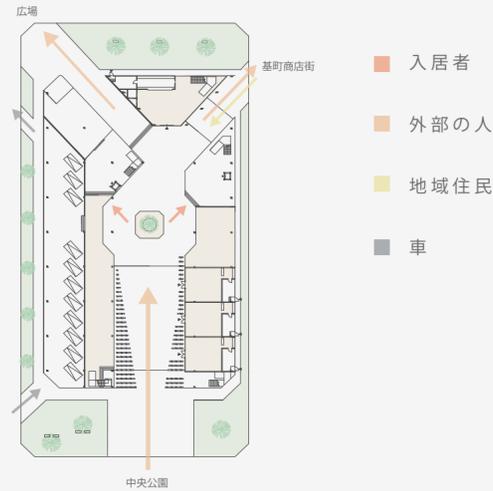
所在地 : 広島県広島市中区基町 16-17

敷地面積 : 約 5000 m²

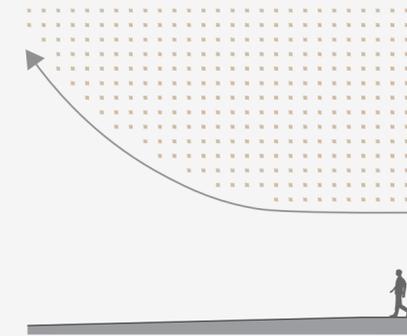
アクセス : JR 新白鳥駅から徒歩 13 分

- ① 市営基町中層アパート
- ② 市営基町高層アパート
- ③ 広島中央公園

■ 動線計画



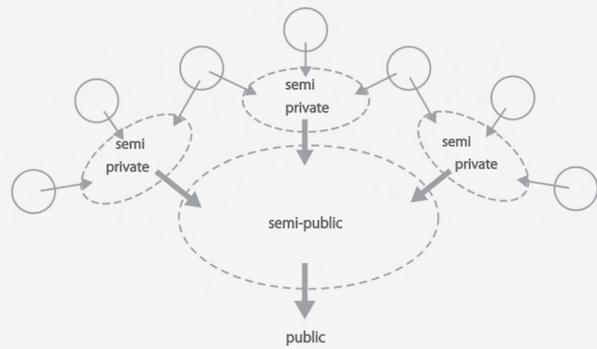
- 入居者
- 外部の人
- 地域住民
- 車



プロムナード断面

入居者、外部の人、基町地区の人がプロムナードを通して中央の広場に集まるように誘導する。
EV ホールを中央の広場に面して配置することで入居者が必ず中央の広場を経由して住戸に向かうようにしたり、格子で奥に行くほど開ける道を再現することで外部の人がプロムナードに誘いこまれるようにしたりした。

■ 空間構成



住戸のようなプライベート空間→複数の住人が利用するセミプライベート空間→全ての住民が利用するセミパブリック空間→外部の人でも利用するパブリック空間と空間に公共性の違いを持たせて段階的に配置する。
これにより、その日の目的や気分に合わせて過ごす空間を選択できるようになるため生活にゆとりが生まれ、交流の促進に繋がっていく。

■ 住戸平面



- ① 前テラス
- ② 住戸廊下
- ③ 共用廊下
- ④ リビング



住戸廊下

住戸廊下を共用廊下に面するように平行に配置し、不透明なガラスで分かつことで縁側のような空間を形成した。また、隣人と壁を共有するように住戸を配置することで空間にゆとりを与え、住民の様々な顔が表れる空間とした。このようにして、生活の一部を外部に晒すことで住民がお互いの顔を知り、交流するきっかけを演出した。



南側立面図



屋根伏せ図



基町商店街側通路



断面パース



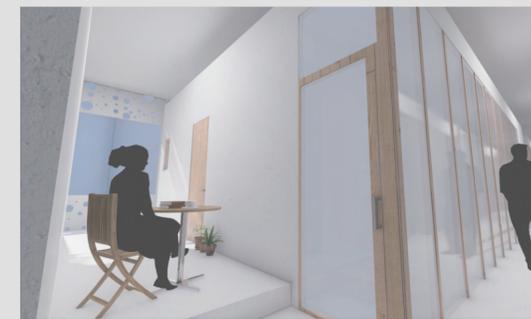
A. 作業部屋

テレワークなどの様々な作業を行う住民にとっての第二の住戸となり得るセミプライベート的な空間である。外部からの視線を遮るが、影により人の気配は感じられる。それにより、集中出来る空間と交流が生まれる空間を兼ね合せている。



B. 集いの場

主婦たちが少し集まって談笑したり、入居している子供が遊んだり、ちょっとした作業を行ったりする住民の交流の中心地となる。各階共用廊下やプロムナード、EVホールから様子伺えるため足を運びやすい空間となっている。



C. 住戸前テラス

住戸間に設けられた各住戸専用テラスである。家庭菜園を行ったり、机を配してお茶や作業をしたり、自転車や子供のボールを置いたり住民によって違う顔が表れる空間である。どんな住民が住んでいるのか知るきっかけとなる。



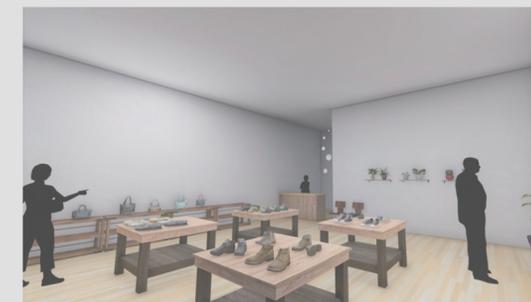
D. 共有工房

仕事で制作活動を行うような人の他に日曜大工をするような人が主に利用する空間である。



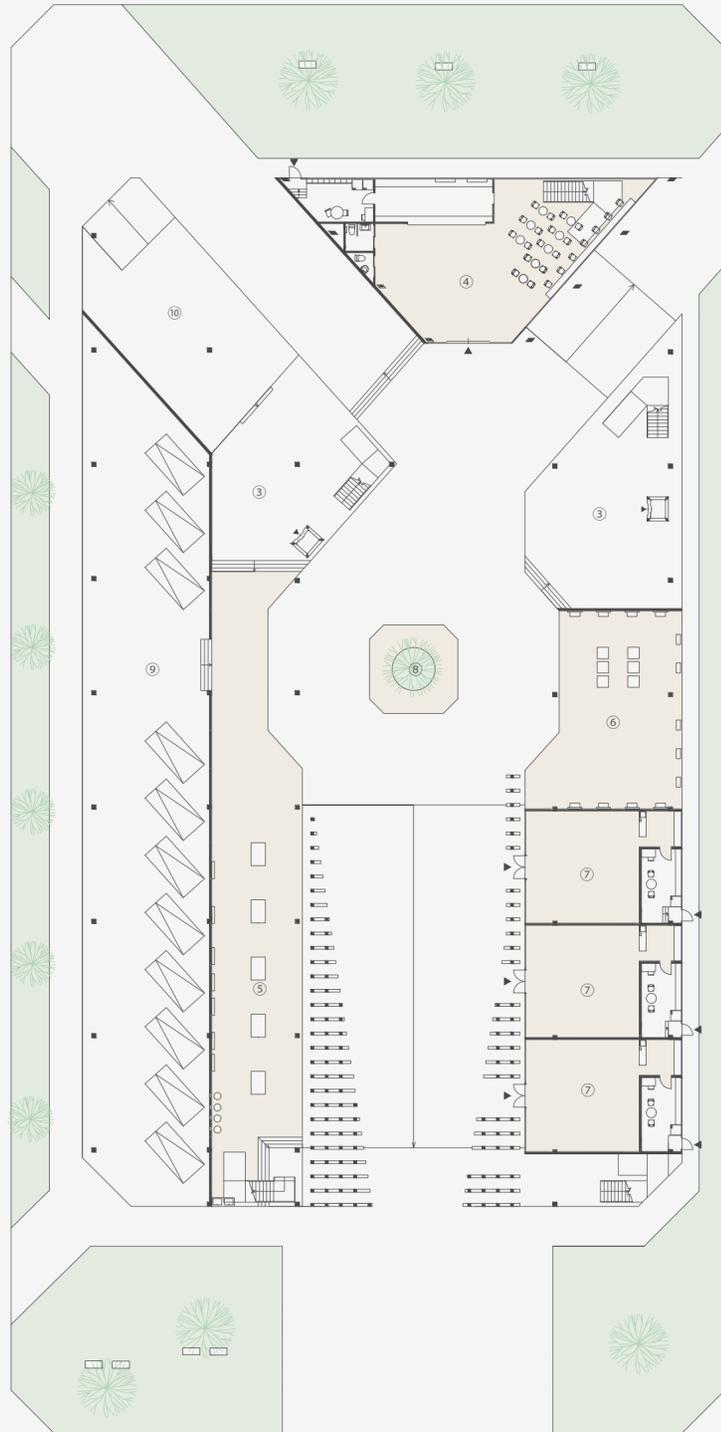
E. ギャラリー

向かいの共有工房で住民が制作した絵画や小物などといったものを展示することで住民たちの活動を基町地区に限らず、外部にも発信する場所となる。

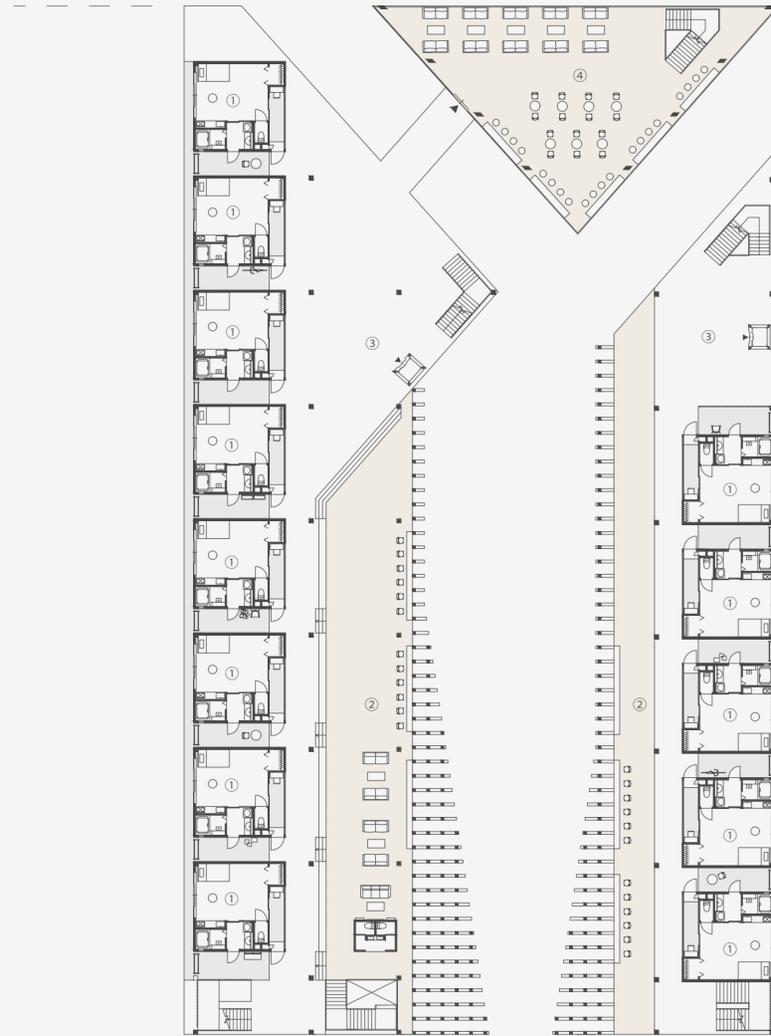


F. 貸店舗

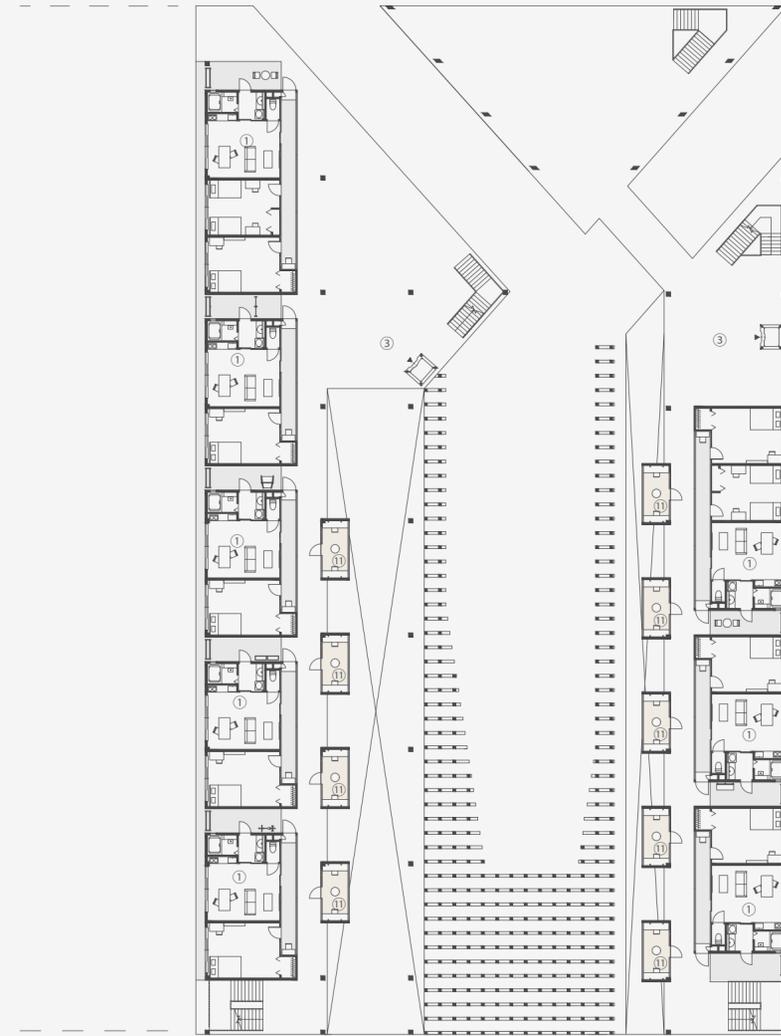
外部からの店舗が入るだけでなく、住民が制作した小物や編み物などといったものも出品したりもする。基町商店街への通りに沿わして配すること連続性・一体感を表現した。



配置図兼階平面図

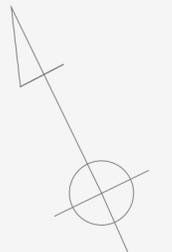


2階平面図



3階平面図

- ① 住戸
- ② 集いの場
- ③ EVホール
- ④ カフェ
- ⑤ 共有工房
- ⑥ ギャラリー
- ⑦ 貸店舗
- ⑧ 中央広場
- ⑨ 駐車スペース
- ⑩ 駐輪スペース
- ⑪ 作業部屋



0 5 10 20m



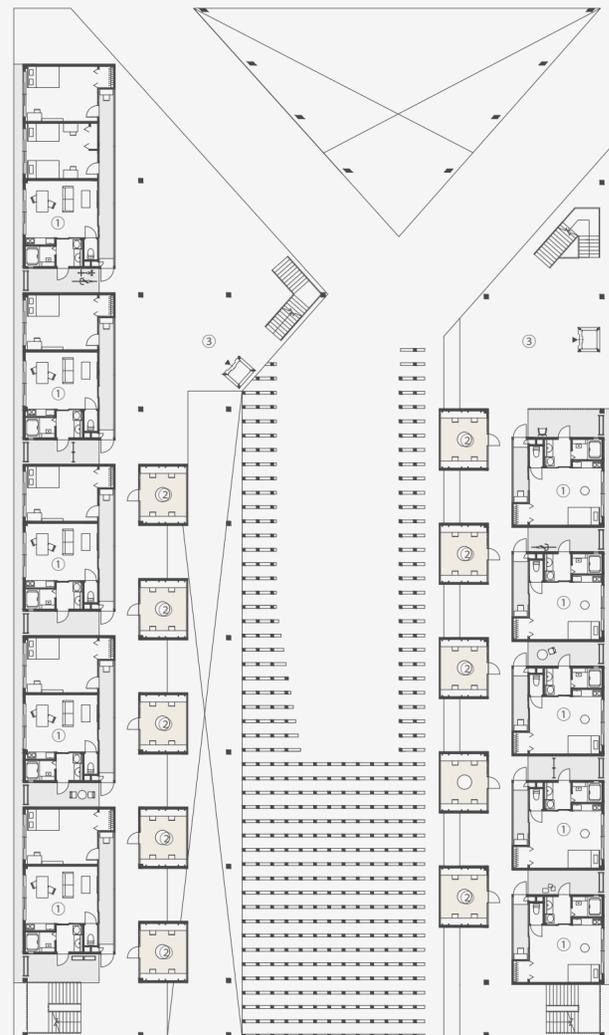
カフェ

プロムナードが二手に分かれる所に位置し、基町地域の住民・基町外部の住民・当集合住宅の住民の導線が交わりあう場所となる。
2階は利用客が作業を行いやすいように机や椅子をゆとりを持たせて配置し、ゆっくりできる空間とした。

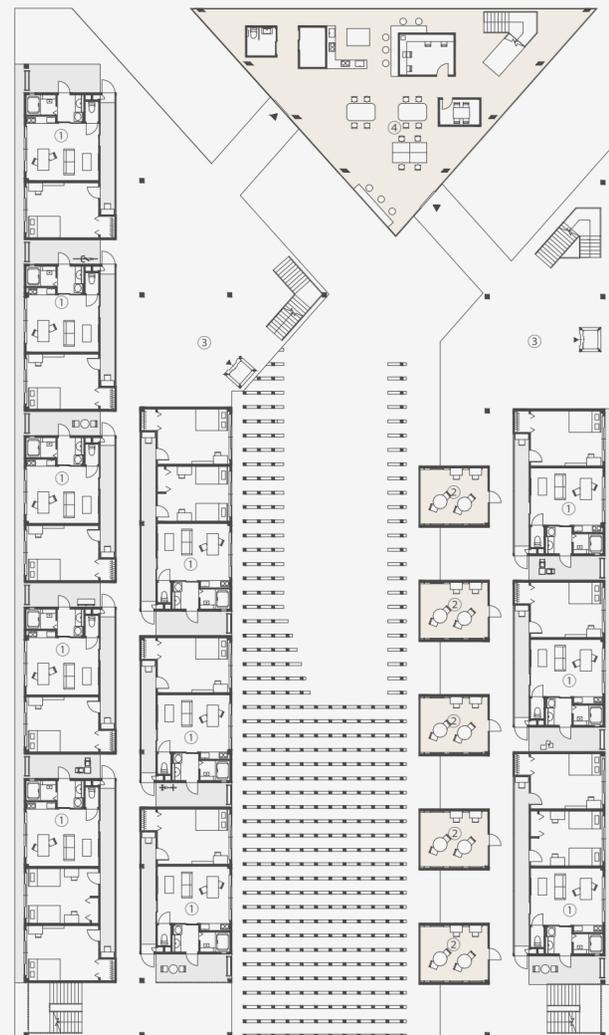


西棟共用廊下

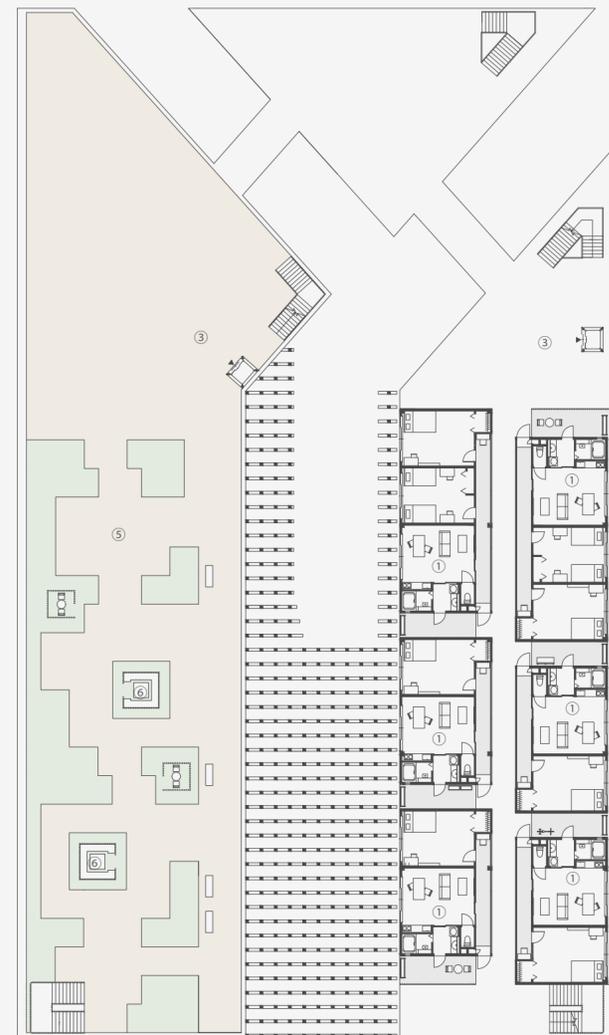
片側には住戸が、反対側には作業部屋が並び作業部屋と作業部屋の間からは下階の集いの場を眺められる。また、作業部屋と住戸の廊下に面する部分には透明度の低いガラスを用いており、住民の気配を感じやすい空間となっている。



4階平面図

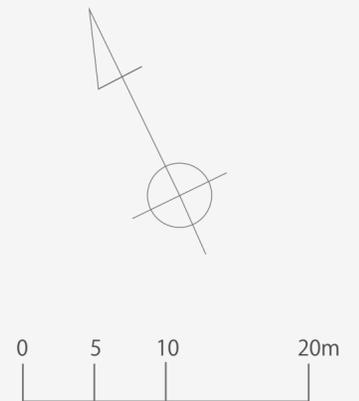


5階平面図



6階平面図

- ① 住戸
- ② 作業部屋
- ③ EVホール
- ④ シェアオフィス
- ⑤ 屋上広場
- ⑥ 屋外作業場



東棟 EV ホール

穴あきパネルと格子が日光を和らげ、優しい光に包まれた空間となる。EVホール横の階段を上ると、自然と視界に中央吹き抜けが入ってくる。和らいだ光と相まって、開放感溢れる空間となっている。



シェアオフィス

フリーデスクの他に会議室、スモールオフィスなどの空間を設けることで様々な働き方に対応出来る空間とした。休日は共有キッチンを利用した料理教室などの様々なイベント空間に様変わりする。



屋上広場

穴あきパネルに四方を覆われていることで、日光が和らげられ木漏れ日が溢れるような空間となっている。南側にはルーバーで囲まれた作業場があり、風や光といった自然を堪能しながら作業したり談笑したりすることができるようになっている。